

特定非営利活動法人TER

年次活動報告書



キガリオフィス

2023年 - 2024年

4月1日～ 3月 31日

カントリー・ディレクターのメッセージ



「NPO 法人 ルワンダの教育を考える会」(以下、NPO TER と表記) の新しいカントリー ディレクターとして、2023～2024 年度を通じて私たちの使命に揺るぎない献身を示してくださった皆様一人ひとりに心から感謝の意を表せることを大変嬉しく思います。私たちは共に素晴らしい成果を達成してきました。この勢いが、次の年度(2024 ～ 2025 年) にさらに大きな成果へと私たちを駆り立ててくれることは間違いありません。

2023～2024 年の人道的状況には多くの課題があったことを認めたいと思います。しかし、これらの障害は私たちの決意を強めることにしか役立ちませんでした。皆様の揺るぎないサポート、困っている人々への奉仕への献身、そして私たちの仕事に対する信頼は、ルワンダの弱い立場にある子どもたちに利益をもたらす数多くの影響力のある取り組みを開始する上で重要な役割を果たしてきました。これらの取り組みは子どもたちだけにとどまらず、彼らの生活基盤となっている家庭にまで及んでいます。

私たちが築いてきたパートナーシップと、皆様が NPOTER に寄せてくださった信頼に深く感謝しています。2024～2025 年度を迎えるにあたり、皆様には引き続き私たちと共に歩んでいただけることを心から歓迎いたします。私たちは力を合わせれば、ルワンダの子どもたちとその地域社会の生活に大きな変化をもたらすことができます。

心より感謝申し上げます。

Dr. Saidi Rumanzi Mbaraka

カントリーディレクター

はじめに

NPOTER は、2023 年と 2024 年に日本とルワンダで行われた素晴らしい実りあるイベントに感謝しています。また、寄付者、ボランティア、現地パートナー、ルワンダ政府から受けた継続的な支援にも感謝しています。皆様の貢献のおかげで、私たちは多くの子どもたちや多様なコミュニティの生活に影響を与えることができました。

I. 教育プログラム

1.1. ウムチョムイーザ学園

NPOTER の教育への献身は、資金援助だけにとどまりません。最近、スタッフがウムチョムイーザ学園を訪問し、生徒たちが学期末レポートを受け取っていました。これは、NPOTER の資金援助の影響を直接目にする貴重な機会となりました。スタッフは生徒たちと一緒に彼らのパフォーマンスを確認し、励まし、改善すべき点について話し合いました。



これらの話し合いの後、NPOTER のスタッフは生徒の両親と面会しました。彼らは一緒に、生徒の学業成績をさらにサポートするための戦略を探りました。焦点は学業だけではありません。勉強や復習に適した安全でサポートのある家庭環境を作ることの重要性も強調されました。この多面的なアプローチにより、NPOTER の教育への投資は、生徒自身だけでなく、その家族全員が学習の旅に積極的に参加できるようにしています。

1.2. 高校生ミーティング

秋休みが終わった後、高校生たちはNPOTER キガリ事務所でNPOTER の職員と面会し、学校で遭遇した困難や、成績を向上させるためにどのように対処するつもりかを話し合いました。



ルワンダ・キガリの NPO 法人 TER 事務所の高校生たち

II. 健康プログラム

2.1. 学校菜園プロジェクト

NPO TER は学園と協力して、校内に菜園を設置し維持しています。また、Ndera（ンデラ）セクターに野菜を生産する畑と、在宅 ECD に卵を提供する養鶏場も運営しており、栄養失調と闘う政府の取り組みに貢献しています。



キミロンコ 2 世学校菜園



Ndera（ンデラ）養鶏場



Ndera（ンデラ）セクターのキャベツ農場では、キャベツが栽培されると、学校給食プログラムを支援するためにウムチョムイーザ学園に寄付されます。

2.2. クリエイティブヘルスプロジェクト



NPO TER は健康なコミュニティの促進に取り組んでおり、バランスの取れた食事の準備と栄養失調に関する最近の教育セミナーはこの取り組みの好例です。LASH の寛大な支援を受けたこのセミナーでは、サフィナ博士とナタリー看護師がミヨベ HMP (Historical marginalized People) コミュニティのメンバーに貴重なトレーニングを提供しました (添付の写真を参照)。

このセッションでは、バランスの取れた食事の準備に必要な知識と技術を参加者に身につけさせることに重点が置かれました。サフィナ博士とナタリー看護師は、栄養失調に関連する健康問題を取り上げ、参加者が自分自身と家族のために情報に基づいた食事の選択を行えるように支援しました。

2.3 クリエイティブヘルス



山脇さんとサフィナ博士

この取り組みは、ミヨベ地区で実施されている NPO TER のより広範な「クリエイティブヘルス」プログラムと完全に一致しています。このプログラムには、コミュニティ内で幸福の文化を育むために設計されたさまざまな活動が含まれています。このような教育セミナーを他のクリエイティブヘルスの取り組みと組み合わせることで、NPO TER はより健康的で知識豊富なミヨベ コミュニティに向けて大きな前進を遂げています。

Ⅲ. コミュニティ開発プログラム

3.1. ISPR プロジェクト (ミヨベプロジェクト) の終了

ミヨベ プロジェクトはキガリ ヴィルンガ RC と保原 RC の支援を受けて、持続可能性イニシアチブの開発に関する 3 年間の非常に影響力のある活動を実施し、今年終了しました。



記念品贈呈 (ギチュンビ市長⇒ロータリアン)

3.2. マニャンギロ訪問

NPO TER はマニャンギロの歴史的に疎外された人々を訪問し、スタッフがリーダーや HMP コミュニティに組織を紹介しましたが、驚いたことに彼らはすでに組織の活動を知っており、一緒に働くことに興奮していました。



NPO TER スタッフとマニャンギロ部門事務局長



HMP 住宅とトイレ

この写真と他の多くの写真は、マニャンギロの状況を人々に示し、生活水準の向上と発展に必要な支援を得る目的で NPO TER スタッフが撮影しました。



HMPs コミュニティの子供たち

3.3. Let There Be Light プロジェクト

Let There Be Light プロジェクトでは、NPO TER がオフグリッド地域に住む貧困家庭出身の母親、障害者、妊婦、高齢者、学生に 400 個のソーラー ライトを配布しました。今年は最大 1,200 個のソーラー ライトを配布する予定です。



この写真は、NPO 法人 TER のスタッフがデータ収集のために、ライトの受給者を間もなく受け取る人の写真を撮影しているところです。

3.4. JIU 学生交流

NPO TER は、城西国際大学 (JIU) 学生を受け入れ、ルワンダ大学 (医学部) の協力を得て病院を訪問し、授業やワークショップに参加しました。



NPO 法人 TER は JIU の学生サラ・ヤジマさんを迎え入れました。写真は彼女がルワマガナ看護学校の図書館を訪問しているところです。

3.5. 3月11日のミサ

2011年の東日本大震災と津波の犠牲者を追悼する3月11日のミサには、NPO法人TERのスタッフと関係者のほか、NPO法人ウムチョムイーザ学園の受益者とその保護者も参加しました。



ミサ参加者の皆さん

3.6. 日本人インターンの受け入れ

NPO法人TERは4名の日本人インターンを受け入れ、ウムチョムイーザ学園の授業やまちづくり活動などを行いました。彼らは、すべての組織活動と仕事ラインで貴重なスキルを習得しました。



写真は、日本人インターンの鈴木さん、チナツさん、チコさん、ハルサさんが、インターンシップの成功を祝うケーキカットをしているところです。

3.7. NPO TER 事務局長のルワンダ訪問

事務局長のルーシーさんと日本人訪問団4名（辺見一家、山脇さん、JIU学生のサラさん）は、NPO TERのスタッフ、インターン、ボランティアから温かく迎えられ、当団体の活動にも積極的に参加しました。



旅程にはミヨベ地区のISPRプロジェクト訪問も含まれており、訪問団はプロジェクトの最終段階の実施を目撃しました。このレポートに添付されている写真は、ルーシーさん、日本人訪問団、当団体のインターン、スタッフ、ボランティアが協同組合の家の前で団結している心温まる瞬間



を捉えたものであり、NPO TERが育んできた協力精神の証です。

さらに、ルーシーさんと訪問団は、NPO TERの幼児発達（ECD）支援に強い関心を示しました。彼らはブササマナの在宅ECDを訪問し、NPO TERが地域の若者の心をいかに後押ししているかについて貴重な洞察を得ました。

この訪問は、NPO TERの地域開発への献身を示す貴重な機会となりました。ルーシーさんと日本の訪問者の参加は、私たちの進行中のプロジェクトへのさらなる支援となっただけでなく、国際的な協力関係を強化することにも役立ちました。私たちは、こうしたつながりをさらに深め、私たちが奉仕するコミュニティのより明るい未来を育んでいくことを楽しみにしています。

3.8. 温室の設置

これまでのミヨベ プロジェクトの成功を基に、ユニークな温室の設置が実施されました。現地の地理的な制約を考慮した結果、8メートル x 30メートルの寸法の1棟の複合温室を設置することが最も効果的なソリューションであると判断されました。この状況では、2棟の温室に分割することは実現不可能でした。



Miyove HMPs コミュニティに建設された温室

この複合温室は多面的な目的を果たします。第一に、それは雨水を収集する方法として機能します。これは、水不足が課題となる地域では特に重要です。温室の設計は屋根で雨水を捕捉し、雨樋を通じて温室脇に設置した

貯水タンクに誘導され、作物の栽培に効率的に使用されます。

第二に、温室は年間を通じた食料の安全確保を促進します。ルワンダの気候はさまざまですが、温室の管理された環境は外部の気象条件に関係なく、一貫した野菜生産のためのスペースを提供します。



ギチュンビ地区行政による NPO TER 活動の評価の様子

この革新的なソリューションは、信頼できる新鮮な野菜を栽培できるようにすることで、コミュニティに力を与えます。農産物は、一部を販売してコミュニティに収入をもたらす一方で、残りの野菜を直接消費して、すべてのメンバーが栄養価の高い食品にアクセスできるようにするという 2 つの方法で利用することができます。この二重のアプローチは、地域経済を強化するだけでなく、コミュニティのより健康で安定的な食料安全保障の未来を促進します。

3.9 農業と収穫

2023 年は、コミュニティに新たな希望と繁栄をもたらしました。種子、肥料、そして必要な農業訓練を提供する寛大なイニシアチブのおかげで、住民は繁栄する 2.5 ヘクタールの土地を耕作する権限を与えられました。13 トンのポテトが収穫され、家族に栄養価の高い食料の重要な供給源と潜在的な収入源を提供しました。



こそれだけではありません。コミュニティは最初の温室作物を活用することにしました。彼らはトマトを丁寧に育て、その努力は報われ、1.8 トンという豊作となりました。キガリの大手スーパーで



自分たちの作物を販売する喜びは明らかでした。これはコミュニティに切望されていた経済的後押しをもたらしただけでなく、達成感と誇りも植え付けました。

メリットは、目先の利益をはるかに超えています。このプロジェクトは、コミュニティ内で協力と自立の精神を育

みました。植え付けから世話、収穫、販売まで、土地と一緒に働くことで、社会的絆が強まり、共通の目的意識が生まれました。努力の成功を目の当たりにすることで、将来の農業への取り組みに対する新たな希望に満ちた世界感が生まれました。コミュニティのメンバーはもはや支援の受益者ではなく、自らの経済的運命を形作ることができる力のある生産者になりました。

今後、シーズン A 2023 は継続的な成長への出発点となります。得られた知識と経験により、コミュニティは農業慣行をさらに洗練させ、生産を拡大する準備ができています。この新たな自信は、食糧安全保障と収入創出だけでなく、コミュニティ全体の幸福と士気の面でも、より明るい未来を約束します。



ミヨベ住民による小麦の脱穀と選別



温室での新たな農作物への挑戦

IV. 平和コンサート 2023

感動的なことに、2023年8月15日、キガリ虐殺記念館は平和コンサート 2023 の希望に満ちた輝きに包まれました。NPO TER が主催したこのコンサートは、「歴史から学ぼう」という力強いテーマの下、記憶と和解を結びつけることを目指しました。

このイベントは、団結と癒しの力強いメッセージで響き渡りました。ルワンダと海外のアーティストが調和してステージに上がり、彼らの音楽は平和と希望のテーマを反映していました。著名なゲスト、ルワンダ駐在日大使、ルワンダの JICA 代表の出席により、平和構築の取り組みにおける国際協力を促進するというコンサートの取り組みがさらに強化されました。



この毎年恒例のイベントは着実に勢いを増し、ルワンダの平和教育の礎となっています。このコンサートは、1994年のツチ族に対する大量虐殺の犠牲者と広島と長崎の悲劇を追悼する、心を打つ集団的反省の場となります。このコンサートは、これらの歴史的出来事を対比させることで、将来の残虐行為を防ぐために過去から学ぶことの重要性を強調しています。最終的に、平和コンサートは和解のための強力なプラットフォームとなり、団結を育み、より明るい未来を築くための集団的コミットメントを育みます。

V. 財務報告

全体的に報告書は、NPO TER の教育への重点を強調しており、児童教育への多額の投資に加え、特にウムチョムイーザ学園とミヨベ・プロジェクトでは児童の健康に関する取り組みにも重点を置いています。コミュニティ開発の取り組みは複数のプロジェクトにまたがっており、ミヨベ・プロジェクトが最も多くの支援を受けています。

番号	NPO 法人 2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの年次報告書						
	プログラム	ウムチョムイーザ 学園	ミヨベプロジ ェクト	ブササマナプロ ジェクト	マニャンギロプ ロジェクト	特定非営利活動法 人 TER	合計 RWF
1	教育	25,318,501.00	1,370,400.00	720,500.00		1,908,000.00	29,317,401.00
2	子供の健康		466,200.00	385,000.00			851,200.00
3	コミュニティ開発	1,000,000.00	1,858,800.00	792,000.00	166,250.00		3,817,050.00
4	操作					45,179,490.00	45,179,490.00
	合計 (RWF)	26,318,501.00	3,695,400.00	1,897,500.00	166,250.00	47,087,490.00	79,165,141.00

VI. 謝辞

このレポートで紹介されている成果は、注目に値する個人のグループの献身と弛まぬ努力なしには不可能でした。私たちは、変化をもたらすために重要な役割を果たした皆さん一人一人に心から感謝します。

私たちは、国際ロータリーが保原ロータリークラブとキガリ・ヴィルンガ・ロータリークラブと協力して、ミヨベ・プロジェクトの実現に尽力してくださったことに深く感謝しています。彼らのパートナーシップは、持続的な変化を生み出すのに役立っています。

「SHINE ON RWANDA」プロジェクトに多大な貢献をしてくださったジョンとリアに心から感謝いたします。Let There Be Light International および Solar Health Uganda とともに、トレーニング プログラムにおける彼らの専門知識とサポートは、本当に大きな影響力がありました。

E-mail: info@npoter.org
Website: www.npoter.org
Tel: (+250) 785935706



NPO TER に寄付をしてくださった多くの友人たちにプロジェクトを託されたことを光栄に思います。私たちの使命に対する彼ら友人たちの信頼のおかげで、私たちは弱い立場にある子どもたちの教育へのアクセスを拡大することができました。

NPO TER の理事会メンバーと役員の方々には、特に機会が限られている弱い立場の家庭の子どもたちのために、揺るぎない勇気をもって支援してくださったことに深く感謝しています。彼らの献身は私たち全員に刺激を与えてくれます。

NPO TER の活動に対するルワンダと日本の大使館の多大な支援と参加に感謝します。彼らの協力は、私たちのプログラムの成功を確実にするために不可欠です。

この 1 年間の素晴らしい成果に貢献してくださったすべてのパートナー、支援者、個人の方々に改めて感謝いたします。今後もこうした重要なパートナーシップを継続していきたいと考えています。